

## 【議事録】始良市地域ケア個別会議（令和3年6月1事例目）

### 1. 開催日時

令和3年6月17日（木）18時30分～19時00分

### 2. 事例対象者

年齢	性別	要支援要介護度
86才	女性	要支援 1

### 3. 生活行為に関する課題

#### 【課題】

近所の方の高齢化や移動手段が少ないため、外に出る機会・人との交流の機会は通所利用時のみになっている。また、以前は自宅周りの農道を散歩していたが、現在は庭のみ。散歩の回数・歩行距離も少なくなっており閉じこもりがちになっている。

#### 【個人因子】

鬱症状が強い時は、夫が家事を行っていた。ここ1年ほど前から自分でも掃除機かけや洗濯干し、調理等できるようになってきている。気分の落ち込みや倦怠感の訴えはない。

#### 【環境因子】

夫と二人暮らし。玄関に出るまでに土間があり、段差がある。「夫がいるから…」と住宅改修ができない。月に1回（主に月曜日）のサロンがあるがコロナもあり不定期。自治会放送にてサロンの日程が伝えられるが、都合が合わず行けていない。自宅から集会場・バス停までは200～250m。坂道あり。

### 4. 助言

#### 【理学療法士】

動作後の腰痛があるとのことで、腰痛体操や痛みの緩和を含めた体操を指導してあげることも必要になってくるのではないかと。また転倒に対する不安も大きいようなので、ご主人にも相談しながら手摺りを設置し自宅での動作が増えることでモチベーションも上がるのではないかと。

#### 【作業療法士】

掃除機をかけた後に腰痛があるようなので、掃除機のかけ方等姿勢の評価をしてみてください。痛みが急性期ではなく慢性的なものになっているのであれば、痛みの破局化スケールをしてみるとアプローチの仕方や方法も変わってくるのではないかと。

#### 【言語聴覚士】

向精神薬を服用していることで発語速度や活動がスローになったり、薬の副作用で口渇があるものだったり、口が渇くことで固いものが食べにくくなっているのかもしれない。食事前に水分をとったり、唾液腺マッサージをしてみてください。地域のサロンも人が少なくなっているが、今後、市が市民体操の普及も検討しているので、小さなグループを作ってコミュニケーションを増やす意味でもいいのではないかと。

#### 【管理栄養士】

今年の5月ごろから自分で料理をするようになり自信にもつながっているのではないかと。みんなが認めることで本人のモチベーションにもつながるので、ご主人や娘さんたちにも協力をお願いしながら「美味しかった」など声掛けをしてしていただくことでモチベーションも上がっていくのではないかと。

### 【歯科衛生士】

下の歯は義歯、上の歯は3本のみということで、上の歯がないことでよく噛めなかったりして唾液が出てこないことや食事時の口の渇きが気になったりすることもある。転倒防止のためにも義歯の装着をした方がいい。歯の治療を行い日ごろから義歯を装着してもらいしっかり噛むようにしていけたらいいのではないか。

### 【生活支援コーディネーター】

昨年サロンが休止になっており、食事会のみ続けている。コロナが落ち着いたら参加してもらったり、もともと交流のあった方に自宅に来てもらったり、民生委員さんを通して地域の方に協力をもらいながらやり方を変えてサロンとは別の交流ができたらいいのではないか。

### 【主任介護支援専門員】

外出や社会参加するという部分で今はデイケアに参加することが本人精一杯なのかと思われるので、本人の意識がデイケアに参加する事から日常生活の目標へ目を向けてもう少し意識が生きがいや外出に目が行くような具体的な目標を本人と考えていけたらいいのではないか。そのためにもお孫さんのことや活動的に地域の活動に参加されていたことなどアセスメントし目標設定を具体的にしていけたらいいのではないか。社会資源の発掘などどういうものがあたらいいのか等行政の方に働きかけてみてもいいのでは。

## 5. 事例提供者の気づき、感想等

### 【介護支援専門員】

具体的でそれぞれ専門性のある助言をいただきありがとうございました。今後更新になるが、聞きたいことがまとまり目標設定の仕方についても絞っていけるのでいい勉強になりました。

### 【通所リハ】

外出へのアプローチや腰痛の評価を行うことで今後につなげていけるような体操に持っていけたらと思う。またそれを通して本人のやりたいことや地域に視点が向けられるようにしていけたらと思う。

## 6. 地域課題

始良市第8期福祉計画にも上がっている「多様な通いの場」について、地域（自治会）や内容にとらわれない通いの場の創出。